

「栗沢頭首工の魚道見学と意見交換会」

- 日 時:平成27年10月8日(木) 13:15～16:30
- 見学場所:栗沢頭首工の魚道
- 意見交換場所:南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室



魚道に仕掛けられたワナに入ったウグイ

意見交換会の様子

第30回夕張川流域会議は、台風接近による悪天候のため急ぎよ中止となり、当日参加ができたNPOなどの流域会議委員と江別河川事務所職員で、今春完成した栗沢頭首工の魚道見学と意見交換が行われました。魚道見学ではちようど魚類遡上調査が行われており、しかけられたワナに遡上してきたウグイがかかっています。意見交換では、参加者から魚道整備への感謝の声とともにサケマスの上層の遡上に期待する意見がありました。各団体からヤナギ繁茂による河原の減少を防ぐためヤナギ抜き活動*やサケマス遡上調査や河川清掃活動の報告もありました。また魚類の専門家からは安定した水量による環境維持のため、ダムの運用について提案がありました。

※次頁「夕張川で鳥を見よう」参照

参加者の主な意見

- 素晴らしい魚道ができて感謝している。
- 9月初旬サケを確認した。これからも独自に遡上調査を続けたい。
- 河原のヤナギ抜きをした。今後も学習等で利用したいので河原を維持したい。
- サケマス遡上時期に水量を確保するためダムをうまく運用してはどうか？
- 栗沢頭首工上流にはサケマスの産卵床になりうる箇所がある。



ボート陸揚げ、降船で苦労する様子



試験的に整備されたボート発着場



整備後ボート発着場の利用



ボート発着場利用者の感想

「使いやすくなった。ありがたい。」「泥ですべる。」「ボートの幅があるので、もう少し広いともっとよい。」など。

参加者の主な意見

- NPOでは、夕張川の川下りやボート漕ぎ体験を行っている。ボート利用は去年より増えている。
- 底は、泥がたまっている。開口部の上流側を切って水を流さないと泥が堆積しヤナギや草が生えてくる。
- ボート幅に合わせて発着場を広くすれば、もっと使いやすい。
- 河岸が切り立ち、草が繁茂すると水際が見えない。落水しないように留意したい。

川のアクセスを改善し、河川利用の拡大

ボート発着場整備と河川利用についての意見交換

- 日時:平成27年6月1日 9:30～12:00
- 場所:馬追橋上流右岸(栗山町、小林酒造の横の河岸)

長沼頭首工下流左岸

夕張川を利用しているNPO、教育委員会等関係者が参加して河川利用向上のための意見交換が行われました。馬追橋上流右岸に整備されたボート発着場では、泥が溜まりやすいことが開口部の広さを課題としながら、ボート発着が格段に便利になったという意見がありました。今後も、利用しながら使い勝手を見ていくことになりました。

夕張川の 指導者認定システム づくりに向けて

川の指導者講習開催

RAC講習会のフォローアップを目的に今年も指導者講習会が行われ、酪農大のボランティアさん、栗山町教育委員会の職員、青年会議所メンバー、NPOの担当者等が参加しました。1日目は、指導者としての心得、川のしくみ、川の歩き方等の座学の後、実習として川で生き物調べを行いました。2日目は、川の活動時の安全確保に関する座学と実際に川でボート操作、救助体験等を行いました。

魚類調査

- 日時：平成27年6月20日（土）9：30～17：00、
6月21日（日）10：00～17：00
- 場所：栗山町雨煙別小学校コココーラ環境ハウス、夕張川清幌床止め、長沼頭首工



川歩き



ボート操作



座学の様子

確認種数：33種

- 1 マガモ
- 2 キジバト
- 3 カワウ
- 4 アオサギ
- 5 ツツドリ
- 6 カッコウ
- 7 アマツバメ sp
- 8 コチドリ
- 9 トビ
- 10 オシロウシ
- 11 ハイタカ
- 12 ノスリ
- 13 チゴハヤブサ
- 14 モズ
- 15 ハシボンガラス
- 16 ハシブトガラス
- 17 シジュウカラ
- 18 ヒバリ
- 19 ショウドウツバメ
- 20 ヒヨドリ
- 21 ウグイス
- 22 センダイムシクイ（声）
- 23 エソセンニューウ（声）
- 24 オオヨシキリ
- 25 コヨシキリ
- 26 ムクドリ
- 27 ノビタキ
- 28 スズメ
- 29 ハクセキレイ
- 30 カワラヒワ
- 31 ベニマシコ
- 32 ホオアカ
- 33 アオジ



コヨシキリ



ショウドウツバメ（飛翔）



チゴハヤブサ

※（声）は、声で確認しました。
※spは、その種の仲間ではあるが識別まではできないものです。

夕張川で鳥を見よう

おっ鳥クラブの探鳥会、河原のヤナギ抜き

おっ鳥クラブが、定例の探鳥会を開催しました。馬追橋下流左岸の堤防を下流に向かい、途中、栗沢頭首工の魚道に立ち寄ってから、ショウドウツバメ営巣地河岸までを移動し、33種の鳥たちを確認しました。

- 日時：平成27年6月7日（日）早朝6：00頃からお昼頃まで
- 場所：夕張川 馬追橋下流左岸堤防→魚道→ショウドウツバメ営巣地河岸

ショウドウツバメ営巣地前の河原でヤナギ抜き

この川原では、環境学習やボート体験が行われていますが、近年、ヤナギが繁茂しはじめて来たため、砂利原保全を目的にヤナギ抜きが行われました。



堤防から観察



栗沢頭首工の魚道での観察



河川敷での観察



ショウドウツバメ営巣地の観察

発行：江別河川事務所内 夕張川流域会議事務局

〒067-0074 江別市高砂町5 電話.011-382-2358 FAX.011-382-3857 <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>